

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月3日

上場会社名 株式会社 ニッカト一

上場取引所 東

コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西村 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 紀ノ岡 隆一郎

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第1四半期 | 1,239 | — | △7 | — | 27 | — | 13 | — |
| 21年3月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第1四半期 | 1.12 | — |
| 21年3月期第1四半期 | — | — |

(注)当社は、平成21年3月期第3四半期より連結財務諸表の作成を始めたため、平成21年3月期第1四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|---|-------|------|--------|-----|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | |
| 22年3月期第1四半期 | 9,687 | — | 7,509 | 77.5 | 629.72 | — | — | |
| 21年3月期 | 9,939 | — | 7,575 | 76.2 | 635.18 | — | — | |

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 7,509百万円 21年3月期 7,575百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |
| 22年3月期 | — | — | — | — | — |
| 22年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注)平成22年3月期の配当予想額に関しては、平成21年3月期決算短信でお知らせしました内容と同様で、現時点でも未定とさせていただきます。詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」、「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|--------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 | 2,880 | — | 23 | — | 61 | — | 29 | — | — |
| 連結累計期間 | 6,000 | △17.7 | 255 | △49.4 | 300 | △44.3 | 140 | 13.6 | 11.74 |

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注)当社は、平成21年3月期第3四半期より連結財務諸表の作成を始めたため、第2四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率については記載していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ「定性的情報・財務諸表等」、「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 12,135,695株 21年3月期 12,135,695株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 210,629株 21年3月期 210,348株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 11,925,066株 21年3月期第1四半期 一株

(注)当社は、平成21年3月期第3四半期より連結財務諸表の作成を始めたため、平成21年3月期第1四半期の期中平均株式数(四半期連結累計期間)については記載していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)当社は、平成21年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第1四半期の数値および対前年同四半期増減率等については記載していません。

(2)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「定性的情報・財務諸表等」、「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年秋のリーマン・ショック以降、急速な悪化を続けてきた景気も、輸出の下げ止まりや在庫調整の進展に伴い、ようやく回復局面に入っております。しかしながら、未だに先行きの不透明感が拭えず、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは積極的な営業活動を展開してまいりましたが、主力のセラミックス事業は電子部品業界向けを主とした耐摩耗セラミックスの売上が前年度後半の記録的な落ち込みから未だ本格的な回復に至らず、低調な状況で推移しました。一方のエンジニアリング事業も生産設備投資需要の冷え込みが依然と好転せず、セラミックス事業以上に売上が低迷し、極めて不振な実績となりました。この結果、第1四半期の業績につきましては、売上高は1,238,829千円にとどまりました。

利益面でも、あらゆる諸経費の削減に注力いたしましたものの、上記売上高の低迷による減益を補えず、営業利益は△6,715千円と僅かではあります。残念ながら赤字を計上し、経常利益は株式受取配当金等営業外収益の増加により26,696千円、四半期純利益は13,378千円となり、黒字を計上したとはいえ、不本意な実績となりました。

(注) 当社は、平成21年3月期第3四半期より連結決算を開始しました。したがって、前第1四半期連結累計期間の記載は行っておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 当第1四半期連結累計期間末の資産、負債、純資産の状況

総資産は、減収に伴う売掛金や受取手形等の売掛債権、即ち流動資産が大きく減少し9,686,746千円となりました。負債も流動資産同様、減収に伴う買掛金や未払金等の流動負債が大幅に減少し2,177,261千円となりました。純資産は、別途積立金の取崩や自己株式の取得等により減少し7,509,484千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

投資活動によるキャッシュ・フロー382,333千円のマイナスに対して、営業活動によるキャッシュ・フローで374,164千円のプラスと財務活動によるキャッシュ・フロー60,079千円のプラスでカバーした結果、現金及び現金同等物は51,910千円増加しました。

当第1四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

大幅な減収に伴い買掛債務が減少したものの、売上債権が買掛債務よりもさらに大きく減少したため、営業活動によるキャッシュ・フローは374,164千円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に東山工場における建屋建設や大型設備機械投資に伴う有形固定資産の取得で、投資活動によるキャッシュ・フローは382,333千円千円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払いや長期借入金の返済を長期借入金200,000千円の調達で賄い、財務活動によるキャッシュ・フローは60,079千円のプラスとなりました。

(注) 当社は、平成21年3月期第3四半期より連結決算を開始しました。したがって、前第1四半期連結累計期間の記載は行っておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において平成21年5月7日に公表しました内容から変更はありません。

また、配当につきましては平成21年5月7日公表の内容と同様で現時点でも未定とさせていただき、今後の実績推移等を勘案したうえで、速やかに開示を行う所存であります。

(注) 本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の実地棚卸の省略

当第1四半期連結会計期間末の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,785,002 | 1,733,105 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,805,471 | 2,054,033 |
| 有価証券 | 30,506 | 30,494 |
| 商品及び製品 | 603,595 | 604,901 |
| 仕掛品 | 610,239 | 581,031 |
| 原材料及び貯蔵品 | 184,840 | 194,242 |
| その他 | 385,477 | 388,030 |
| 貸倒引当金 | △3,330 | △3,400 |
| 流動資産合計 | 5,401,802 | 5,582,438 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 1,213,408 | 1,235,029 |
| その他(純額) | 1,908,336 | 1,978,334 |
| 有形固定資産合計 | 3,121,744 | 3,213,364 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 27,653 | 28,382 |
| その他 | 1,170,064 | 1,148,920 |
| 貸倒引当金 | △34,518 | △34,518 |
| 投資その他の資産合計 | 1,135,545 | 1,114,401 |
| 固定資産合計 | 4,284,943 | 4,356,149 |
| 資産合計 | 9,686,746 | 9,938,587 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 633,581 | 720,960 |
| 短期借入金 | 402,000 | 402,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 168,699 | 117,352 |
| 未払金 | 398,400 | 546,651 |
| 賞与引当金 | 83,082 | 166,000 |
| 役員賞与引当金 | 5,445 | 22,110 |
| その他 | 53,203 | 16,372 |
| 流動負債合計 | 1,744,412 | 1,991,446 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 250,396 | 144,014 |
| 退職給付引当金 | 23,245 | 33,044 |
| 役員退職慰労引当金 | 91,192 | 127,312 |
| その他 | 68,016 | 68,016 |
| 固定負債合計 | 432,849 | 372,387 |
| 負債合計 | 2,177,261 | 2,363,833 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,320,740 | 1,320,740 |
| 資本剰余金 | 1,221,859 | 1,221,859 |
| 利益剰余金 | 5,131,151 | 5,237,026 |
| 自己株式 | △91,411 | △91,296 |
| 株主資本合計 | 7,582,340 | 7,688,330 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △72,855 | △113,576 |
| 評価・換算差額等合計 | △72,855 | △113,576 |
| 純資産合計 | 7,509,484 | 7,574,753 |
| 負債純資産合計 | 9,686,746 | 9,938,587 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 1,238,829 |
| 売上原価 | 974,535 |
| 売上総利益 | 264,294 |
| 販売費及び一般管理費 | 271,009 |
| 営業損失(△) | △6,715 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,153 |
| 受取配当金 | 10,028 |
| その他 | 26,293 |
| 営業外収益合計 | 37,476 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 3,314 |
| その他 | 750 |
| 営業外費用合計 | 4,064 |
| 経常利益 | 26,696 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 70 |
| 特別利益合計 | 70 |
| 特別損失 | |
| 固定資産廃棄損 | 133 |
| 特別損失合計 | 133 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 26,632 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,373 |
| 法人税等調整額 | 10,880 |
| 法人税等合計 | 13,254 |
| 四半期純利益 | 13,378 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算

(単位:千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) |
|-------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 26,632 |
| 減価償却費 | 101,419 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △70 |
| 受取利息及び受取配当金 | △11,182 |
| 支払利息 | 3,314 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △9,799 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △36,120 |
| 固定資産廃棄損 | 133 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 250,316 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △18,500 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | 9,773 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △89,132 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 23,958 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 128,732 |
| 小計 | 379,476 |
| 利息及び配当金の受取額 | 11,412 |
| 利息の支払額 | △4,010 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △12,714 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 374,164 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △381,515 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,772 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △453 |
| 貸付金の回収による収入 | 844 |
| 投資その他の資産の増減額(△は増加) | 1,563 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △382,333 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入れによる収入 | 200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △42,271 |
| 自己株式の取得による支出 | △114 |
| 配当金の支払額 | △97,534 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 60,079 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 51,910 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,593,599 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,645,509 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

| | セラミックス 事業 (千円) | エンジニア リング事業 (千円) | 計(千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結(千円) |
|---------------------------|----------------------|------------------------|-----------|--------------------|-----------|
| I 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 890,042 | 348,786 | 1,238,829 | — | 1,238,829 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 890,042 | 348,786 | 1,238,829 | — | 1,238,829 |
| 営業利益又は 営業損失(△) | 11,862 | △18,577 | △6,715 | | △6,715 |

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) セラミックス事業………粉砕用ボールおよび部材、熱処理用容器・道具材、酸素センサ等

(2) エンジニアリング事業…各種電気炉、熱処理装置、応力測定機器、計測制御装置等

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(※) 当社は、平成21年3月期第3四半期より連結財務諸表の作成を始めたため、前第1四半期連結累計期間における「セグメント情報」については記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

売上高・受注高・受注残高

(売上高)

| 事業の種類別セグメント | 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | |
|-------------|---|------------|
| | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
| セラミックス事業 | 890,042 | 71.8 |
| エンジニアリング事業 | 348,786 | 28.2 |
| 合 計 | 1,238,829 | 100.0 |

(受注高)

| 事業の種類別セグメント | 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | |
|-------------|---|------------|
| | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
| セラミックス事業 | 928,953 | 73.2 |
| エンジニアリング事業 | 339,720 | 26.8 |
| 合 計 | 1,268,673 | 100.0 |

(受注残高)

| 事業の種類別セグメント | 当第1四半期連結累計期間末 (平成21年6月30日) | |
|-------------|-------------------------------|------------|
| | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
| セラミックス事業 | 1,005,647 | 83.5 |
| エンジニアリング事業 | 198,541 | 16.5 |
| 合 計 | 1,204,189 | 100.0 |

(注) 1 当社は、平成21年3月期第3四半期より連結財務諸表の作成を始めたため、前第1四半期連結累計期間における「売上高・受注高・受注残高」については記載しておりません。

2 金額は、販売価格によっております。

3 上記の金額には消費税等は含まれておりません。